

RCU10・11

レジカウンター プリスカ 900・1200

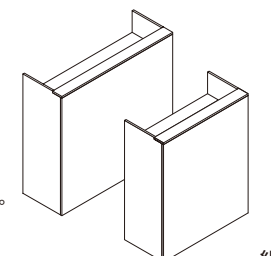
組立・取扱説明書



この度はマテリレジカウンター「プリスカ」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この組立・取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分にご理解のうえ、正しく組立、使用してください。

お読みいただいたあとは、大切に保管してください。



組立動画



パーティクルボード / MADE IN CHINA 2026.07.28

❗ 初期不良商品の交換について

商品の初期不良に伴う交換を承っております。

商品到着後、**必ず5日以内に** 開梱し部品確認をしてください。

万が一初期不良があった場合は 5 日以内に交換・返品のご連絡をお願い致します。

弊社へのご連絡後に商品をご返送ください。なお、交換は該当商品の在庫がある場合に限りさせていただきます。在庫切れ等により交換がお受けできない場合には、ご返金にて対応させていただきます。

あらかじめご了承ください。

※不良品、誤配送による返品・交換の場合は、弊社にて送料を負担させていただきます。

❗ 一部部品が初期不良の場合

不良部品の交換にて対応させていただきますため、返品対応はできません。

❗ 以下の場合は交換対応することができません。

- イメージ違い等お客様のご都合による返品・交換希望の場合。
- 未開封商品で、商品到着後 5 日以内に返品・交換のご連絡をいただいていない場合。
- お客様のお手元に配送され、**配送後 5 日以上** 経過している場合。
- 購入頂いた商品が SALE 対象商品等の特別販売商品や返品・交換不可商品の場合。
- 商品を開封し利用された場合。
- 開封し商品を組立てた場合。**
- お客様のもとで傷、汚れなどの破損や不具合が生じた場合。
- お客様のご都合による、故意・過失・改造加工を施した場合。
- 商品箱を紛失された場合。

※その他、上記に該当しない返品・交換内容につきましても、弊社にて不当と判断した場合はお受けでない事がございます。

あらかじめご了承ください。

RECEPTION COUNTER PRISCA 品番 RCU10・11

⚠ 注 意 組立の前に必ずお読みください

組立の前に

- 部品が揃っていることをご確認ください。
- 初期不良の場合のみ返品・交換させていただきます。お問合せください。
- 組立前に商品の異常がないか十分に確認してください。組立後の不具合、破損、事故に関して弊社では一切責任を負いかねます。

取扱いについて

- 表面は防水性素材を使用しておりますが、表面に傷をつけると耐性が低下するため、お取扱いには十分にお気をつけください。
- 商品により風合いが多少異なります。



組立配送サービスは**開梱・組立・梱包材**の回収までとなります。

組立作業をはじめる前に

⚠ 各部パーツの、「本体の方向」に注意し、必ず「上下」「左右」「前後」の方向を確認しながら、組立手順に沿って慎重に組立ください。※確認を怠った上でのパーツの破損は有償となります。

各パーツは、それぞれ組立工程に沿った・順番・方向があります。

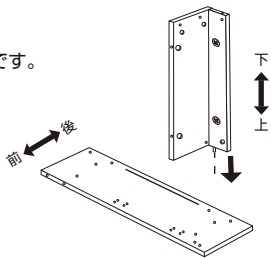
誤った方向・順番で組立ると、変形、破損及び転倒や事故の原因となり危険です。



本体の向きや順番を確認せずに組立



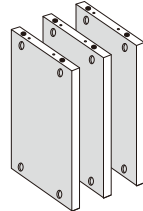
指示に従った向きを確認して組立



必ずお二人以上で作業をおこなってください。



インパクトドライバーは使用しないで下さい。



部品が揃っていることをご確認ください。

安全に末永くご使用いただくためのご注意(必ずお守りください)



この表示を無視して、誤った取扱をすると、傷害を負う可能性や、物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ 運送事故について

- 荷物が到着次第、速やかに開封していただき商品の確認をしてください。運送事故が原因で破損が生じる場合があります。必ず開封確認をしてください。
- 万が一、破損を確認された場合は、損傷状態の確認のうえ、運送会社まで連絡してください。ご返送時に梱包材も必要となりますので大切に保管してください。
- 到着から 5 日以上の経過、梱包材を破棄された場合は配送事故の対応が不可能となります。
- 上記以外の初期不良の場合のみ返品・交換させていただきます。

⚠ 組立上のご注意

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく組立てください。組立が不完全の場合、転倒事故や破損の原因となり危険です。※付属部品は予備として多めに含まれています。
- 生産の時期により同じ商品であっても仕様が異なる場合があります。必ず **商品に同梱されている説明書を参照のうえ、お組み立ててください。**

⚠ 設置上のご注意

- 水平で安定した場所を選んで設置してください。床が傾斜している場所や不安定な場所で使用すると、転倒や事故の原因となり危険です。

⚠ 末永くご使用いただくために

- 金具がゆるんだまま使用すると、変形、破損及び転倒の原因となり大変危険です。定期的に金具をゆるんでいないか点検し、ゆるみのある箇所はしっかりと締め直してください。
- 製品をぬらしたままにしたり、製品の上にぬれた布などを放置しないでください。しみや変色、サビなどの破損の原因となります。ぬれた場合は水分が残らないようにすぐに拭き取ってください。
- 製品に使用しているパーティクルボードは水分に弱く、吸湿によって膨張・変形することがあります。湿度の高い場所での使用はできる限り避け、防湿対策をご使用ください。

⚠ お手入れについて

- 固くしぼった布で拭いてください。汚れがひどいときは中性洗剤を薄めて拭き取り、あとで洗剤が残らないよう、硬くしぼった布できれいに拭き取ってください。絶対に水分が残らないようにしてください。
- アルコールやシンナー系の溶剤は表面をいためる原因となります。絶対に使用しないでください。

⚠ 免責事項

- 天災、第三者の行為、その他事故、お客様の故意または過失、誤用、その他弊社想定外の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品及び製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らず生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

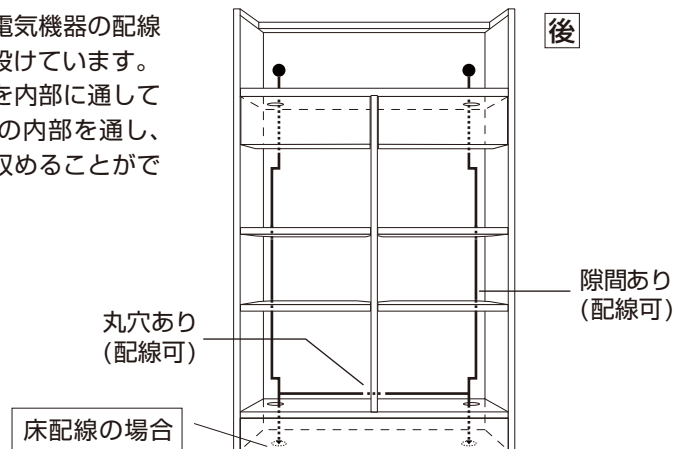
製品についてのお問い合わせは

株式会社 mateli (マテリ) TEL 0120-83-8720 FAX 06-6568-8721 E-mail contact@mateli.jp HP www.mateli.jp
〒556-0020 大阪府大阪市浪速区立葉1-2-4 受付 10：00～17：00 定休日/土日（祝日は営業）※冬季・夏季休業・GWは除く

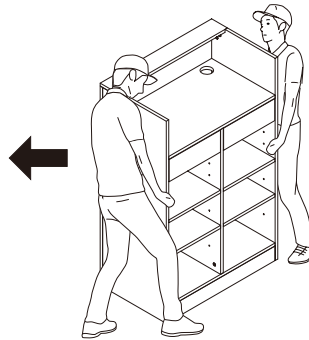
配線経路図

カウンター内にレジ等の電気機器の配線ができるように配線孔を設けています。

下記図を参考にコード類を内部に通してください。コードは商品の内部を通し、カウンター下の床配管へ収めることができます。

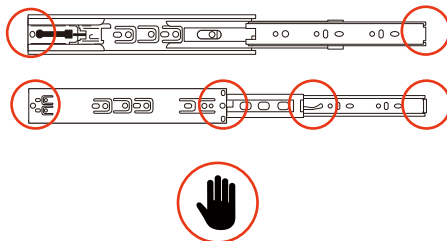


移動の際にご注意



- ❗ 必ずお二人以上で移動してください。
- ❗ 引出しを持たないように移動してください。
- ❗ レジカウンターを引きずってしまうと、接続部が外れたり、ボードが外れたりする恐れがあります。

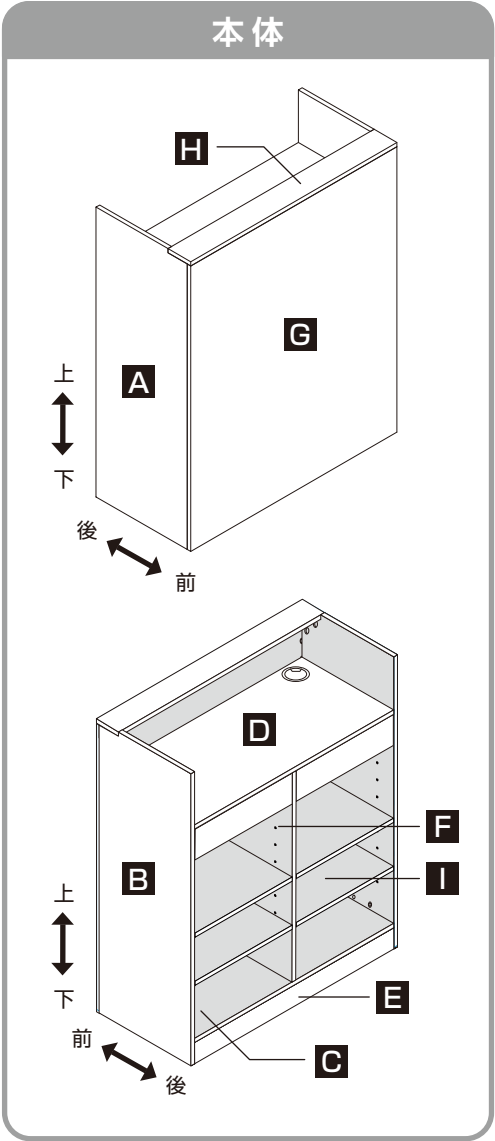
スライドレールについて



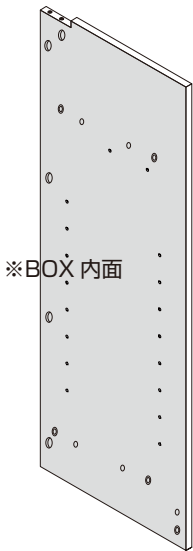
引出し用のスライドレールの内部分には滑りを良くするための潤滑剤が塗られています。

潤滑剤（油）が手に付く可能性があります。イラストに丸を付けているところ以外に触らないようにご注意ください。

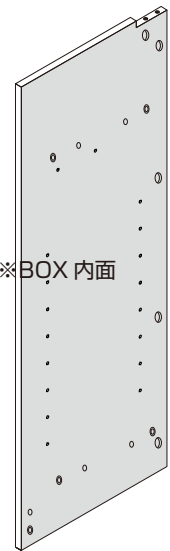
パーツ構成図



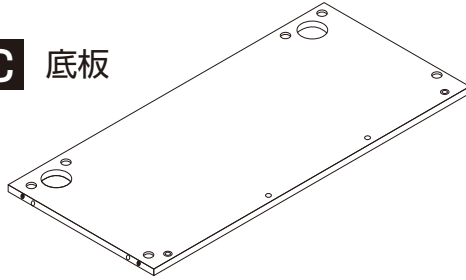
A 左側板



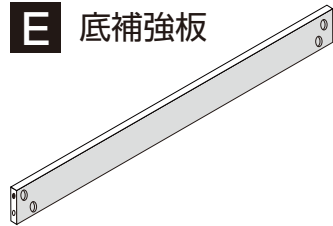
B 右側板



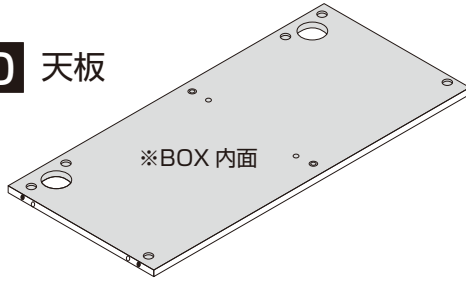
C 底板



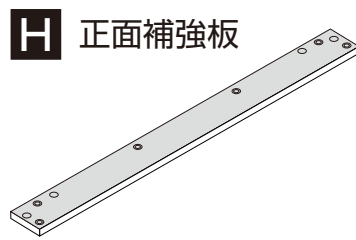
E 底補強板



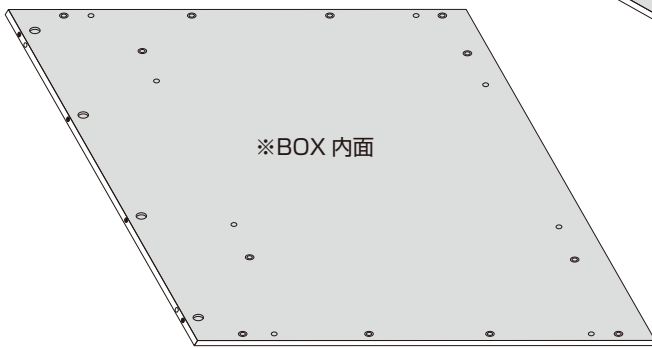
D 天板



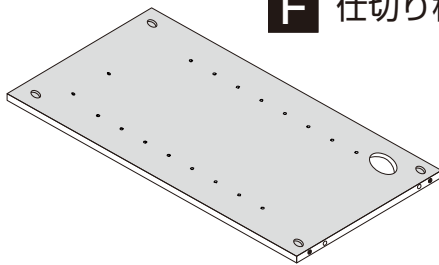
H 正面補強板



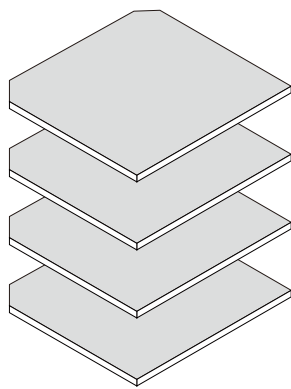
G 正面板



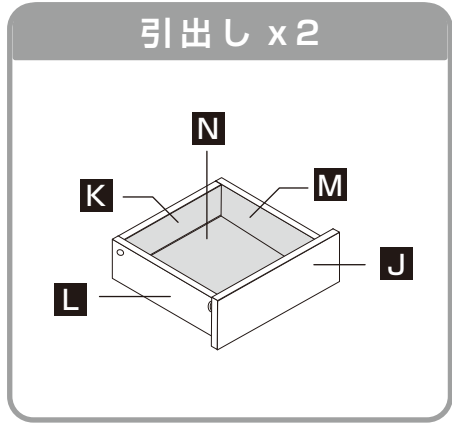
F 仕切り板



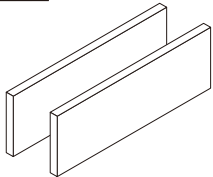
I 棚板 x 4



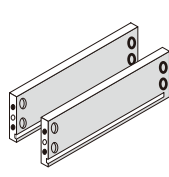
パーツ構成図



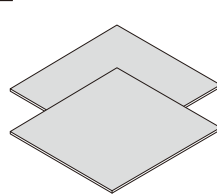
J 引出し正面板 x2



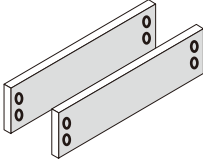
L 引出し左側板 x2



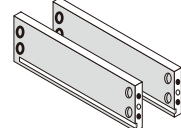
N 引出し底板 x2



K 引出し裏面板 x2

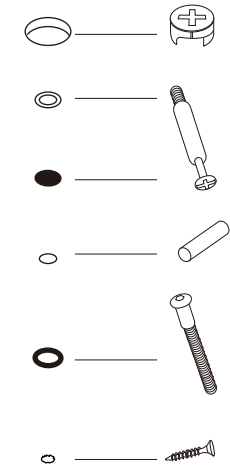


M 引出し右側板 x2



穴のガイド

穴の図 使用ビス等



部品名称



※付属品は予備として多めに含まれております。
※工具は修理やメンテナンスなどの際、必要ですので、廃棄せずに保管してください。
※同じ商品でも入荷時期により、使用する部品が異なる場合があります。必ず同じ商品に付属してある部品を使用してください。

必ず 完成図 ・ パーツ構成図 ・ 組立工程図 を
一通り確認したうえで、イラストを参考にしながら組立はじめてください。

お客様
準備



滑り止めのついた
手袋

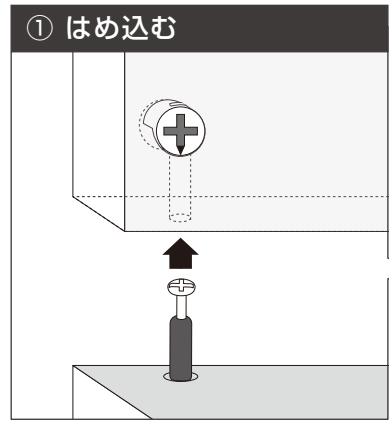


プラスドライバー
(先端形状 2 番)

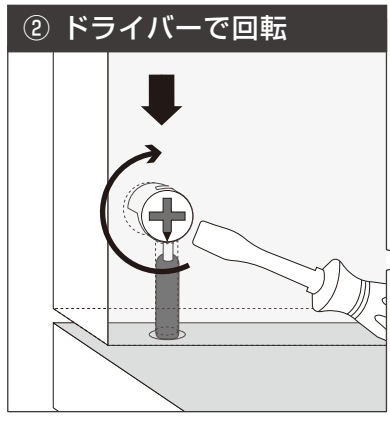


マイナスドライバー

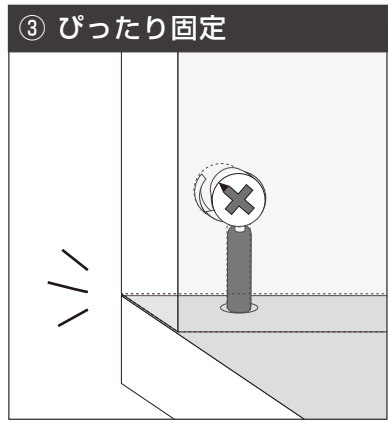
カムロックの使い方



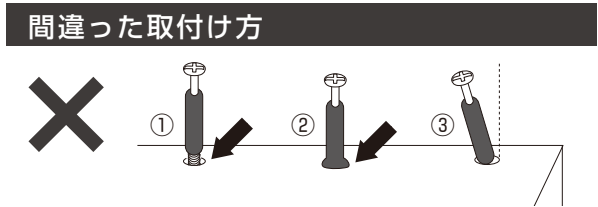
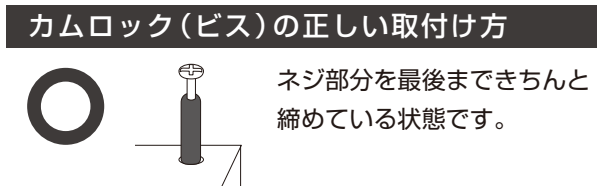
① はめ込む
軸の の向きとビス下穴の向きをそろえて軸を埋め込みます。ビスを必ず垂直にはめ込んでください。



② ドライバーで回転
マイナスドライバーで軸を90°～180°時計回りに回転させ、締めてください。



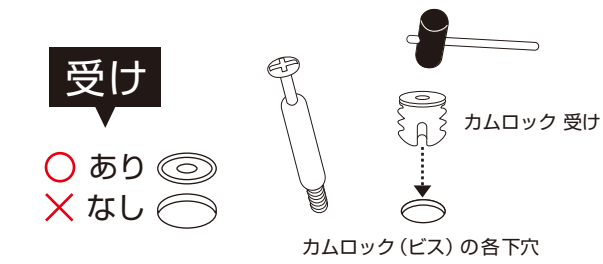
③ ぴったり固定
軸の受け2本の爪がネジの頭に引っ掛かり、板をピッタリ固定されます。



間違った取付け方
① ネジ部分が板から出ていること。
② ネジ部分を締めすぎ・差し込みすぎること。
③ ビスが斜めに差し込んでいること。

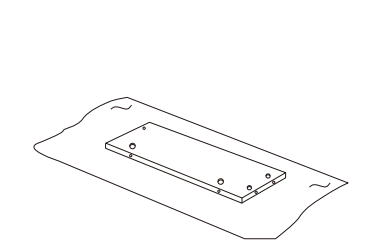
側板の下穴に樹脂の有無を確認

[カムロック(ビス)の下穴] 全てに [カムロック 受け] が入っているかを確認してください。入っていない場合はそのまま使用せず 付属の [受け] を差し込んでから組立ててください。

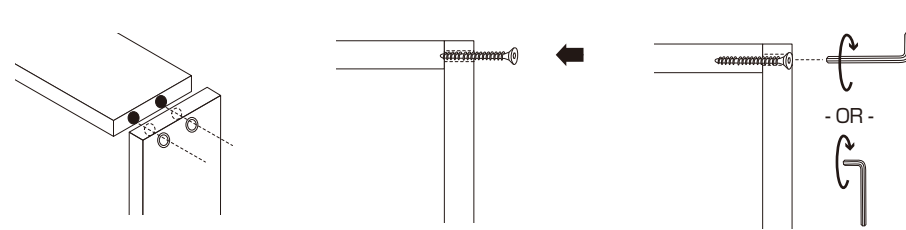


布等を敷く

床を傷つけないように 柔らかい布や段ボール等を敷いて作業する事をお奨めします。

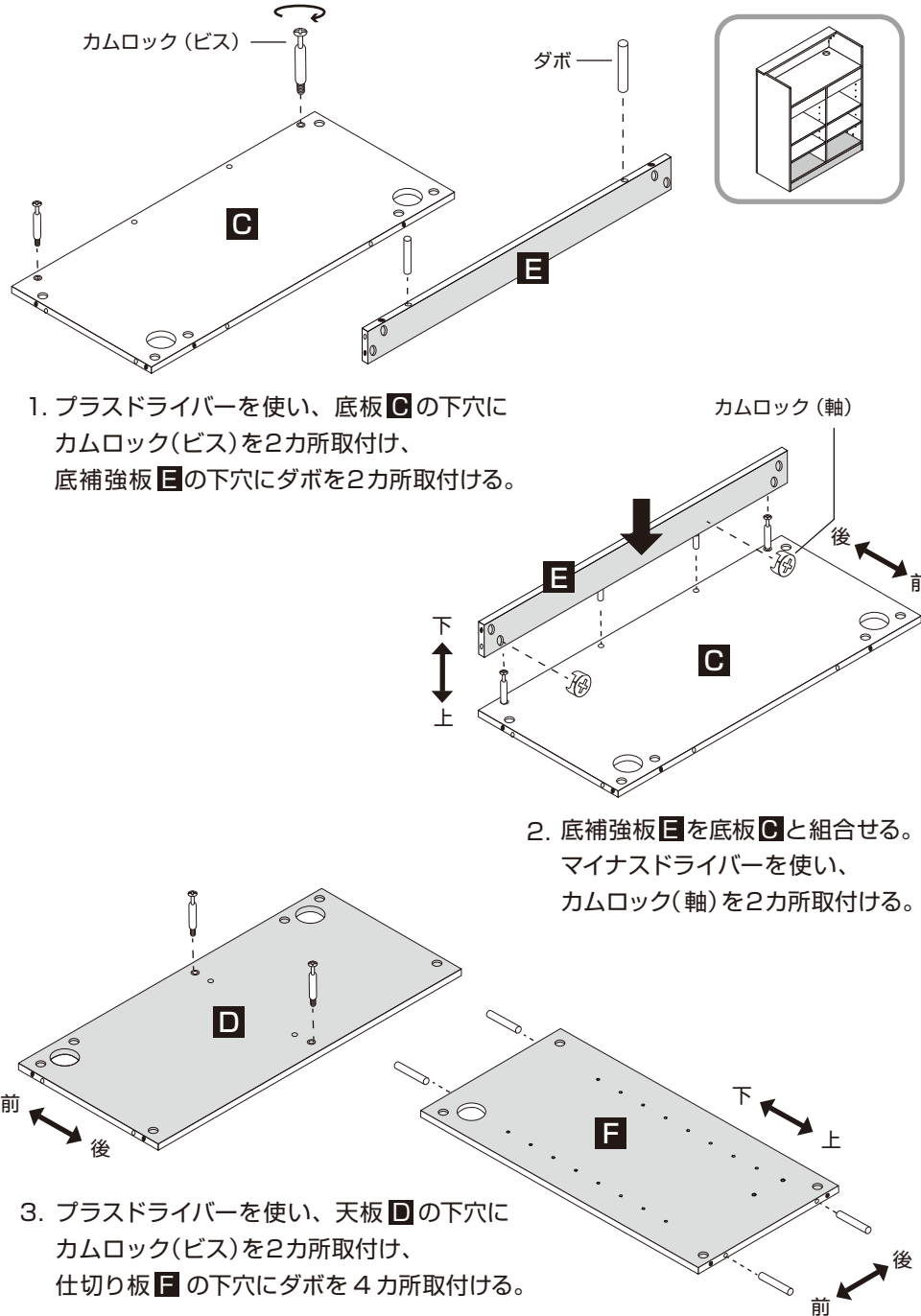


六角ボルトの使い方

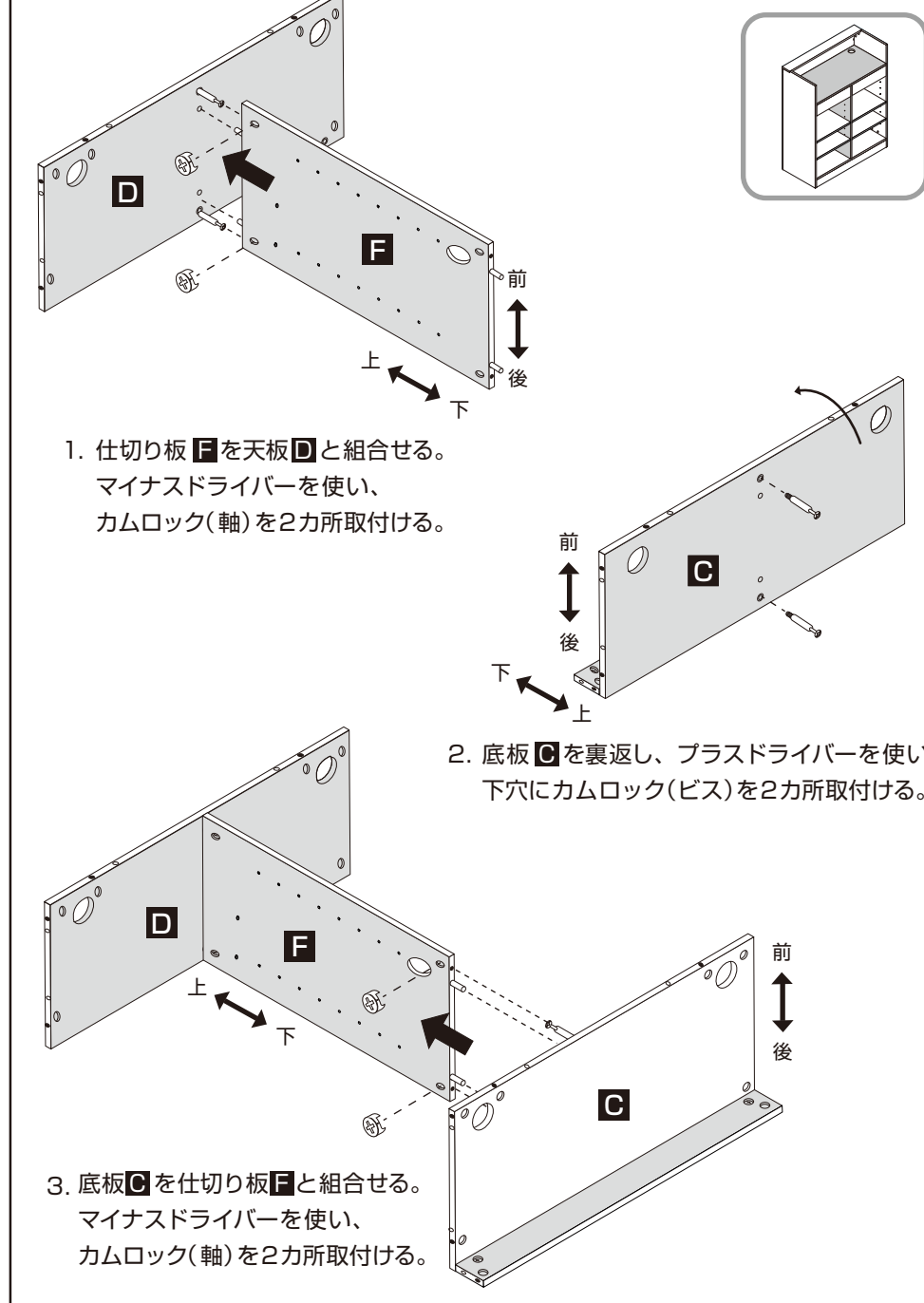


両板の下穴位置に合わせる。
固定用ボルトを外側板の下穴に差し込む。
六角レンチでボルトを回転させ固定する。
※板がずれないように注意し、内側板まで差し込んでください。

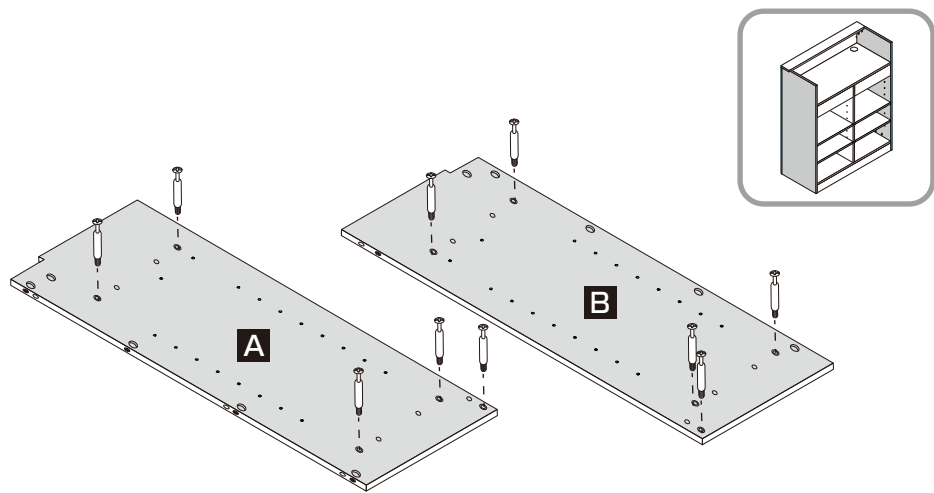
1 底板を固定 ※パーツには方向があります。本体の向きに注意して組立ててください。



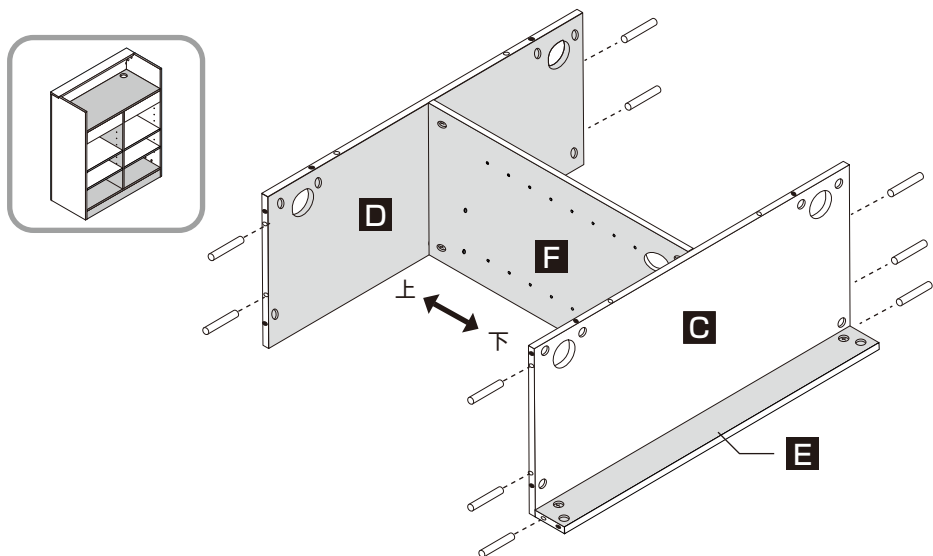
2 仕切り板を固定 ※パーツには方向があります。本体の向きに注意して組立ててください。



3 側板を固定①



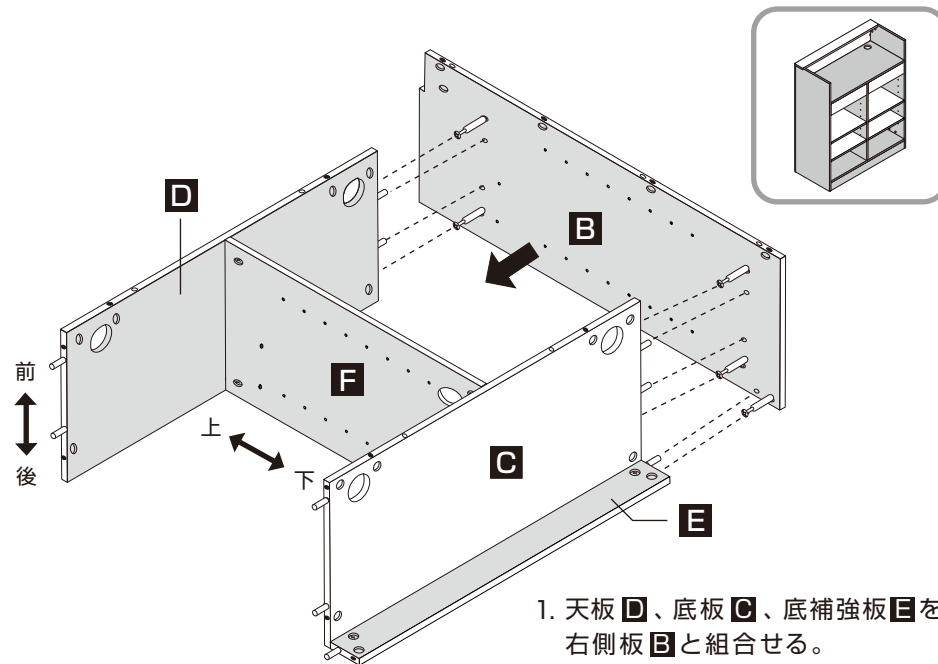
1. 左側板 **A** と右側板 **B** それぞれの下穴にカムロック(ビス)を5カ所取付ける。



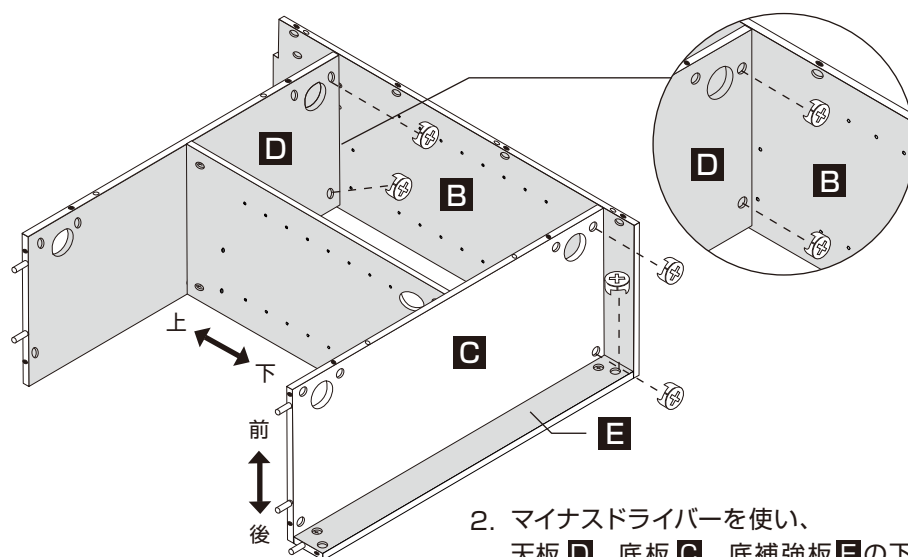
2. 天板 **D** と底板 **C** それぞれの下穴にダボを4カ所取付け、底補強板 **E** の下穴にダボを2カ所取付ける。

4 側板を固定②

※パーツには方向があります。本体の向きに注意して組立ててください。



1. 天板 **D**、底板 **C**、底補強板 **E** を右側板 **B** と組合せる。

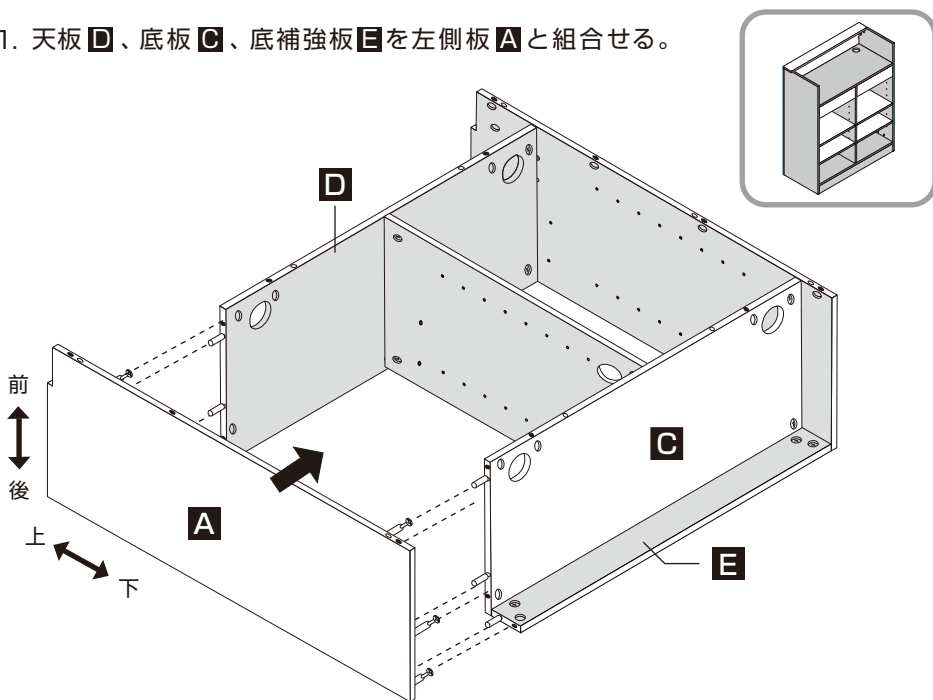


2. マイナスドライバーを使い、天板 **D**、底板 **C**、底補強板 **E** の下穴にカムロック(軸)を5カ所取付ける。

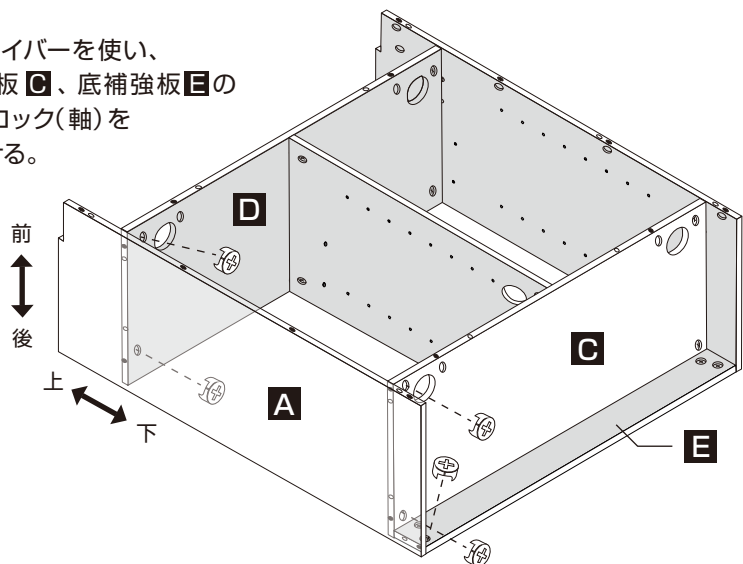
5 側板を固定③

※パーツには方向があります。本体の向きに注意して組立ててください。

1. 天板 **D**、底板 **C**、底補強板 **E** を左側板 **A** と組合せる。



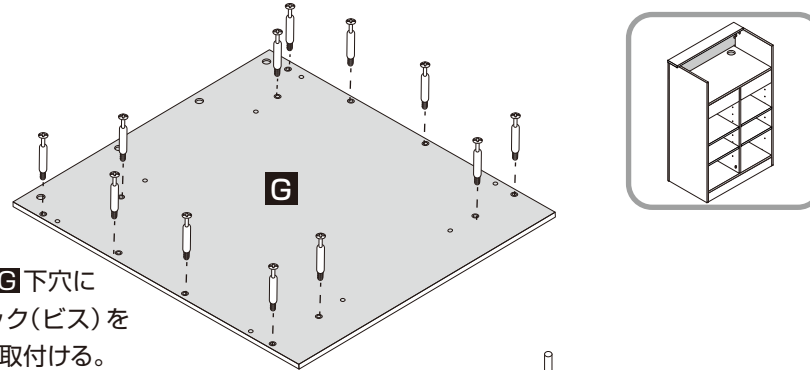
2. マイナスドライバーを使い、天板 **D**、底板 **C**、底補強板 **E** の下穴にカムロック(軸)を5カ所取付ける。



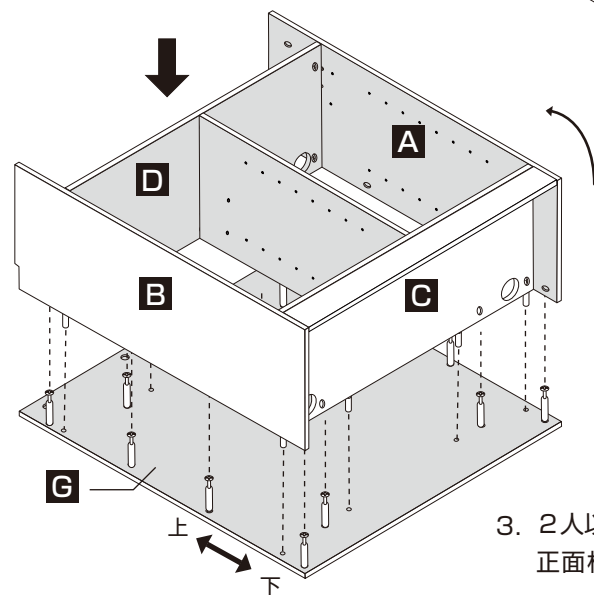
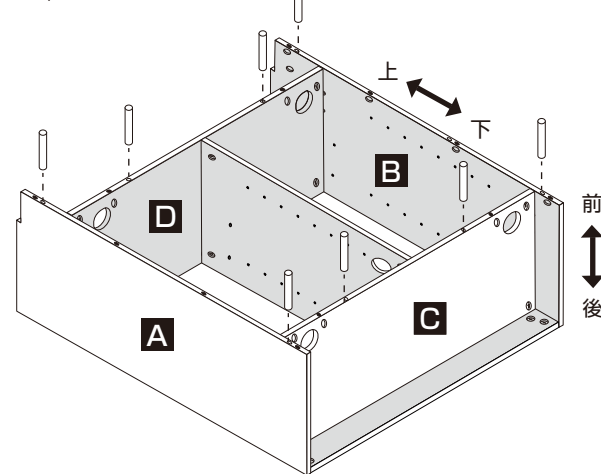
6 正面板を固定①

※パーツには方向があります。本体の向きに注意して組立ててください。

1. 正面板 **G** 下穴にカムロック(ビス)を12カ所取付ける。



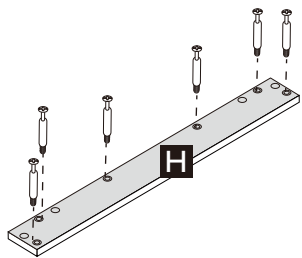
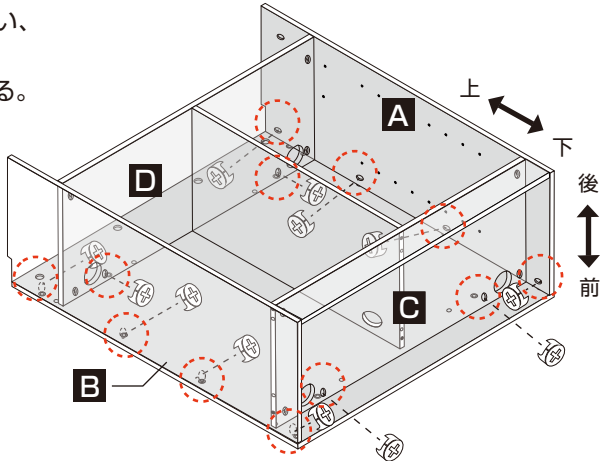
2. 両側板 **A** **B**、天板 **D**、底板 **C** の下穴にダボを8カ所取付ける。



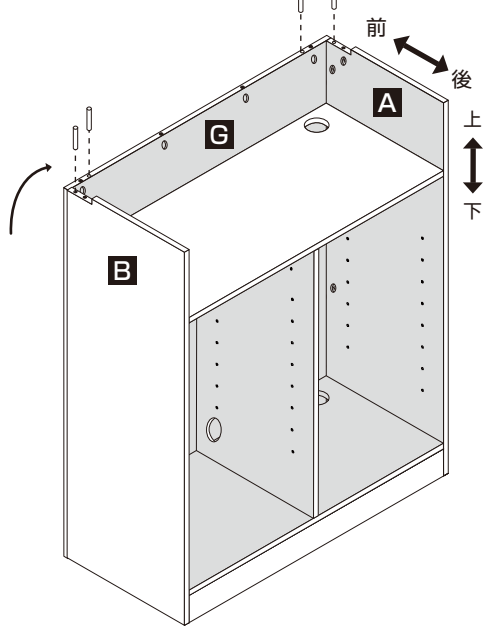
3. 2人以上で支えながら本体を裏返し、正面板 **G** と組合せる。

7 正面板を固定② ※パーツには方向があります。本体の向きに注意して組立てください。

1. マイナスドライバーを使い、下記の板の下穴にカムロック(軸)を取付ける。
天板 **D** : 2カ所
底板 **C** : 2カ所
左側板 **A** : 4カ所
右側板 **B** : 4カ所



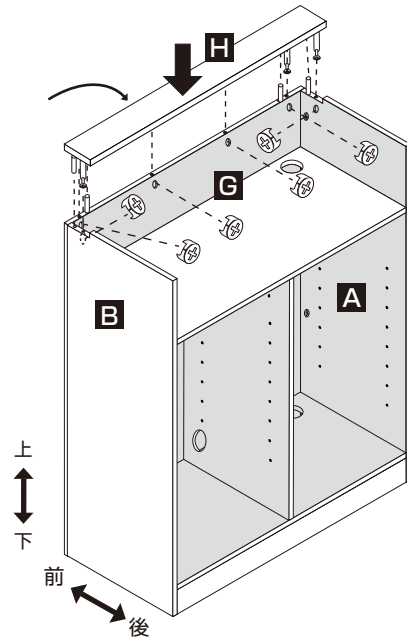
2. 正面補強板 **H** の下穴にカムロック(ビス)を6カ所取付ける。



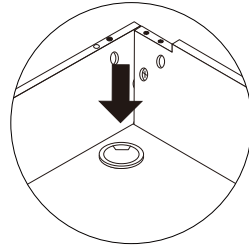
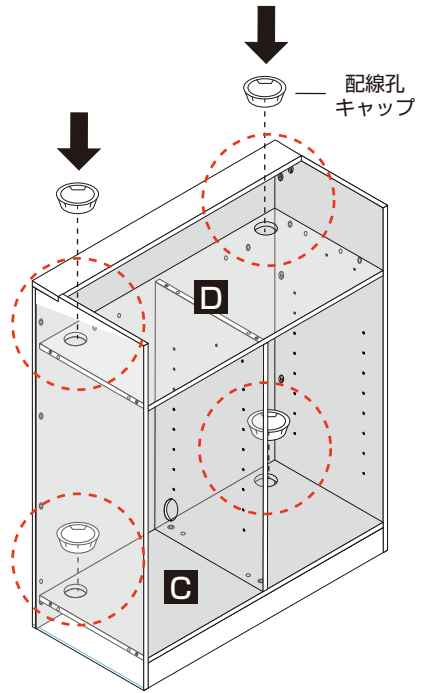
3. 2人以上で支えながら本体を立ち上げる。両側板 **A** **B**、正面板 **G** の下穴にダボを4カ所取付ける。

8 補強板と配線孔キャップを固定

1. 正面補強板 **H** を裏返し、両側板 **A** **B**、正面板 **G** と組み合わせ、内側にマイナスドライバーを使い、カムロック(軸)を6カ所取付ける。



2. 天板 **D** と底板 **C** に配線孔のキャップを上から押し込み、4カ所取付ける。

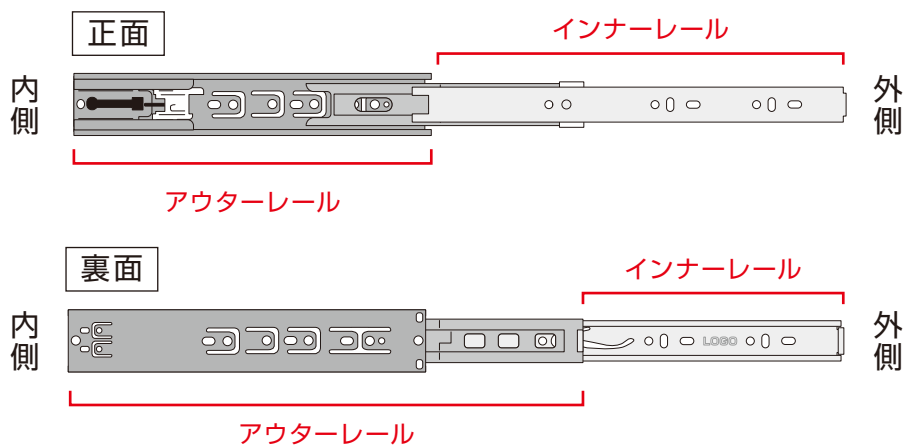


3. キャップは圧着するように設計されているので、強めに押し込んでください。

9 スライドレール①

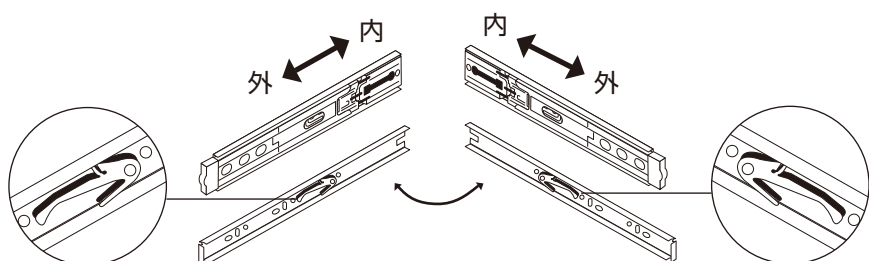
スライドレールについて

引出し用のスライドレールは主に2つのパーツによって構成されています。本体に取付ける「 OUTERレール」と引出しに取付ける「 INNERレール」です。各行程によって使用するパーツが異なるため、図と説明を確認しながら、お組み立てください。

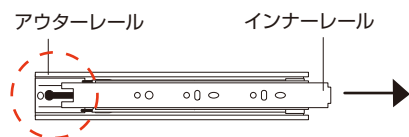


⚠ スライドレールの注意点

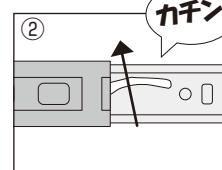
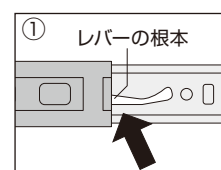
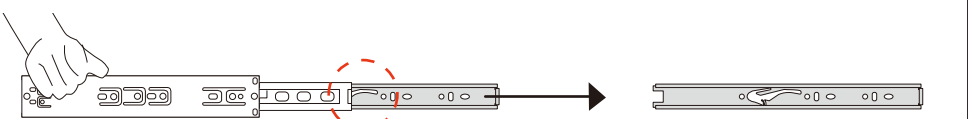
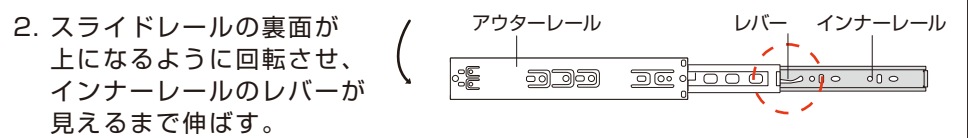
- ・内外の向きをご確認ください。
- ・上下の向きがないため、左右でレバーの向きが異なります。接続前にアウターレールとインナーレールが揃っていることをご確認ください。



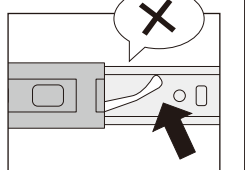
10 スライドレール②



1. スライドレールの正面が上になるように回転させる。白いバネがある端を押さえながら、インナーレールを少し伸ばす。



レバーの端側だけを上げると、インナーレールを外せません。レバーの根本を引いてください。



3. 片手で押さえながら、インナーレールのレバーの根本を「カチン」という音がするまで図②のように押し上げる。アウターレールからインナーレールを引き抜く。
※レバーが硬い恐れがあります。力を入れてください。



アウターレール (本体側) x 4



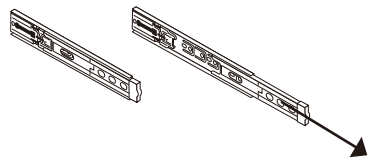
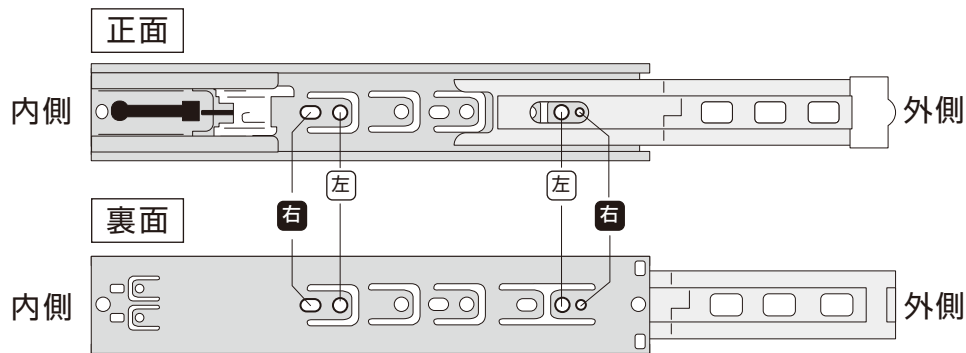
インナーレール (引出し側) x 4

4. 残っている3つのスライダーを同様にインナーレールを引き抜く。

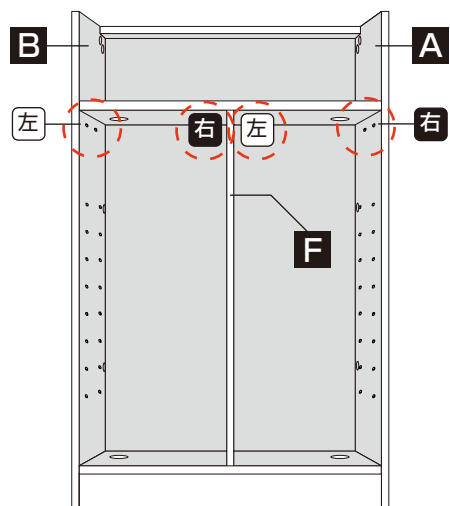
11 スライドレール：側板に固定 ※パーツには方向があります。本体の向きに注意して組立ててください。

⚠ アウターレールの注意点

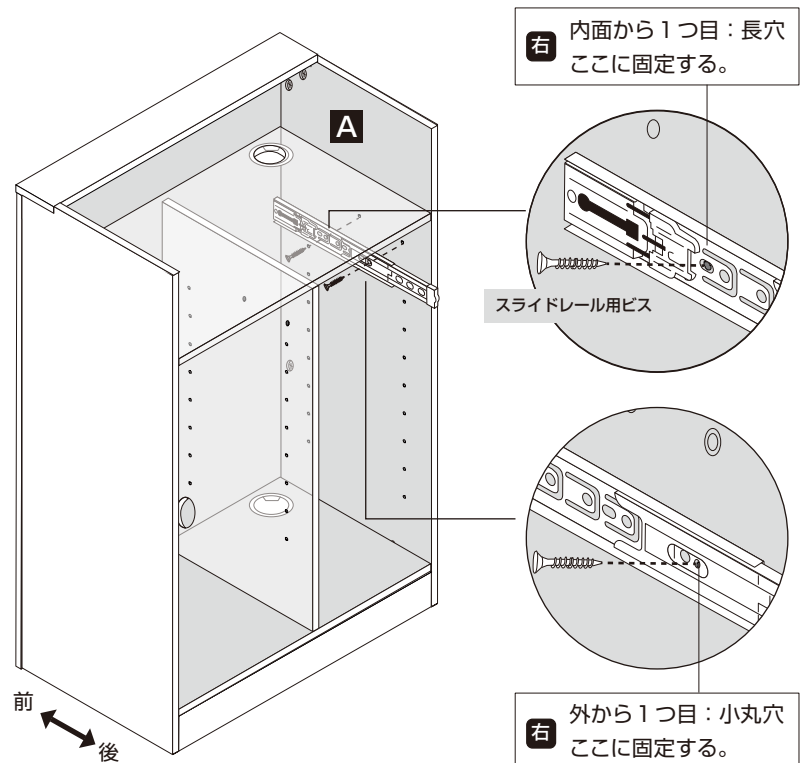
左右の固定穴が異なります。ご確認のうえ、固定してください。



1. レールのアウターレールを最大まで引き出す。



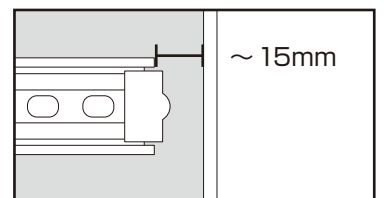
2. 両側板 **A** **B**、仕切り板 **F** 内側のスライドレール用の下穴をご確認ください。



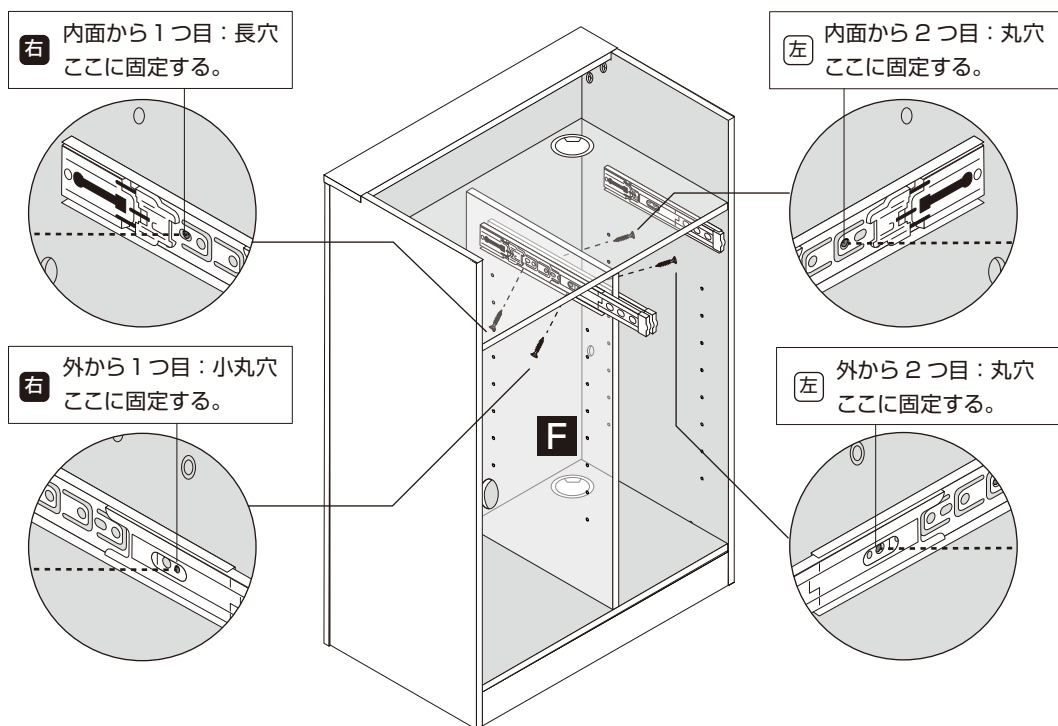
3. アウターレールを左側板 **A** に固定する。プラスドライバーを使い、スライドレール用ビスを2カ所取付ける。
※アウターレールを引き出さないと、穴が見えませんが、ご注意ください。

⚠ 固定位置を確認

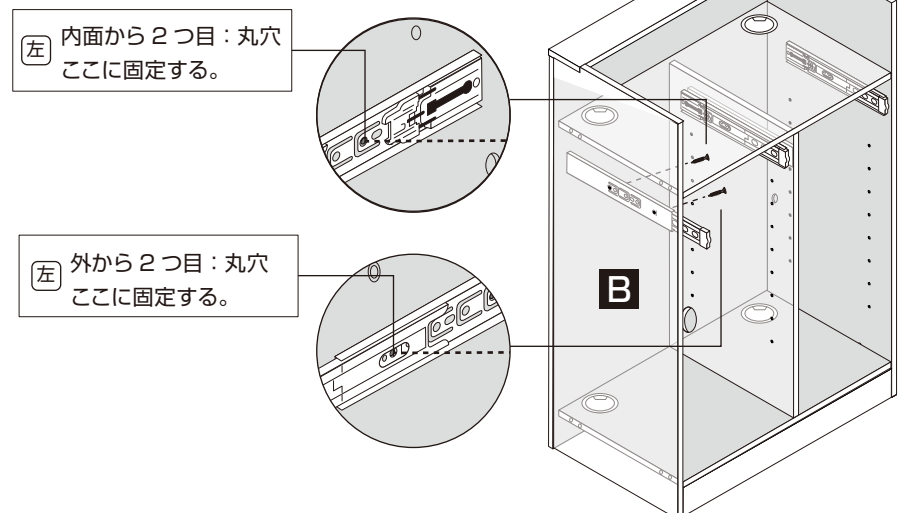
左側板 **A** の固定位置と向きがイラストと同じになっているかご確認ください。



12 スライドレールを固定

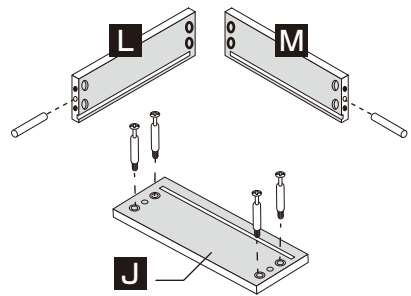


1. アウターレール（2枚）を仕切り板 **F**（両側）に固定する。プラスドライバーを使い、スライドレール用ビスを4カ所取付ける。
※左右の穴位置が異なるため、注意してお取付けください。



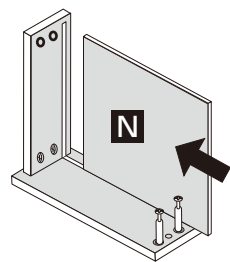
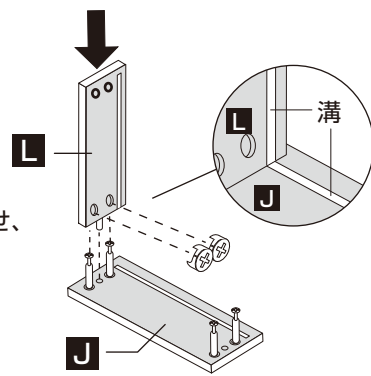
2. アウターレールを右側板 **B** に固定する。プラスドライバーを使い、スライドレール用ビスを2カ所取付ける。

13 引出し箱の組立



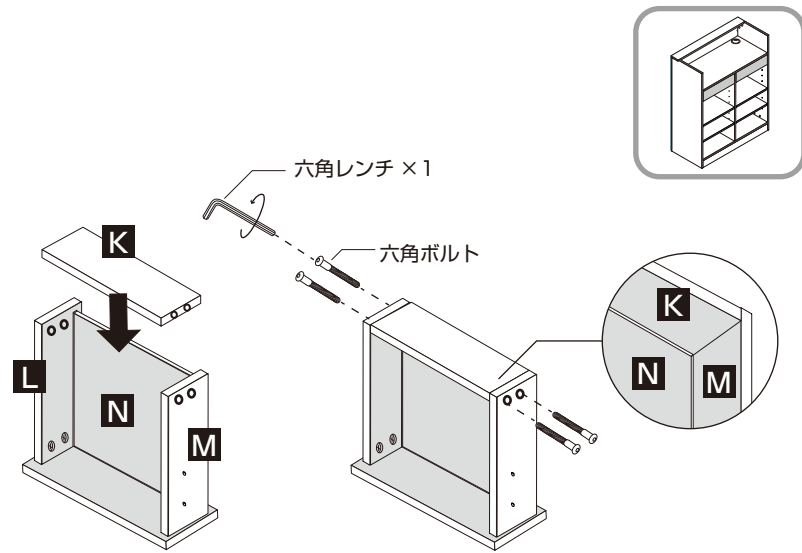
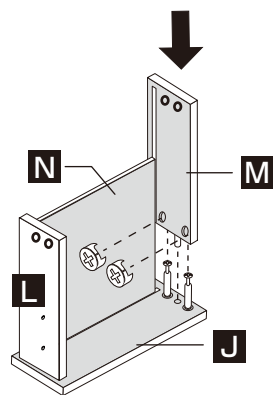
1. 引出し左側板 **L** のと引出し右側板 **M** 下穴にダボを各 1 カ所取付ける。引出し正面板 **J** の下穴にカムロック(ビス)を 4 カ所取付ける。

2. 引出し左側板 **L** のを引出し正面板 **J** と組合せ、カムロック(軸)を 2 カ所取付ける。
※側板の溝が正面板の溝に合うようにご注意ください。

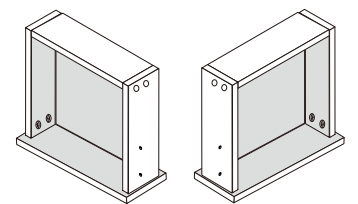


3. 引出し底板 **N** を引出し正面板 **J** と引出し左側板 **L** のスリッドに沿い、差し込む。

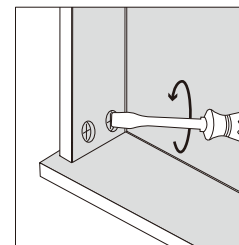
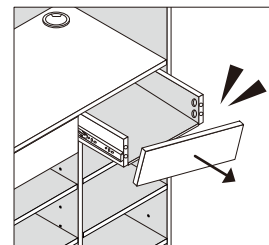
4. 引出し右側板 **M** を引出し正面板 **J** と組合せる。カムロック(軸)を 2 カ所取付ける。
※側板の溝が正面板の溝に合うようにご注意ください。



5. 引出し裏面板 **K** を引出し側板 **L** **M**、引出し底板 **N** と組合せる。全板の溝が揃っているかご確認ください。
六角レンチを使い、六角ボルトを 4 カ所取付ける。



6. もう一つの引出し箱を同様に組み立てる。

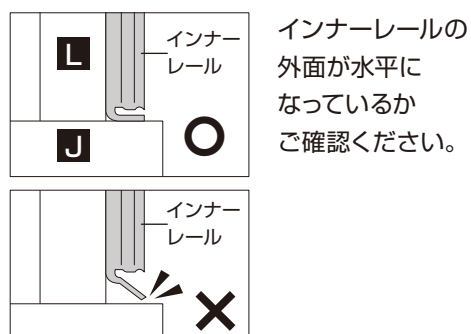
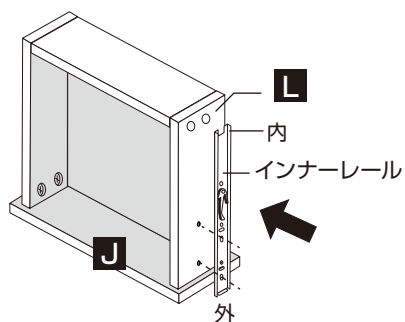
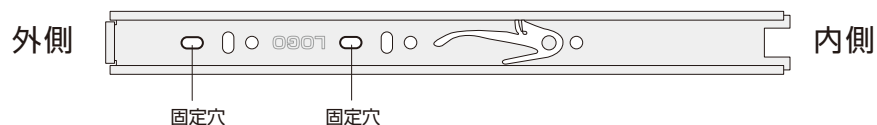


- ⚠ カムロックのメンテナンス**
- カムロック(軸)がゆるい場合、扉が取れてしまう恐れがあります。カムロック(軸)にゆるみがないかを定期的にご確認し、メンテナンスをおこなってください。

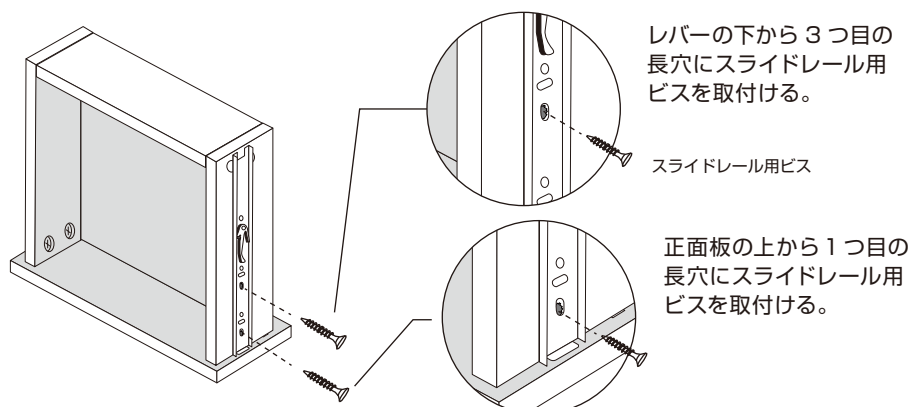
14 スライドレールを引出し箱に固定①

⚠ インナーレールの注意点

左右の固定穴が同じです。穴の位置をご確認のうえ、固定してください。



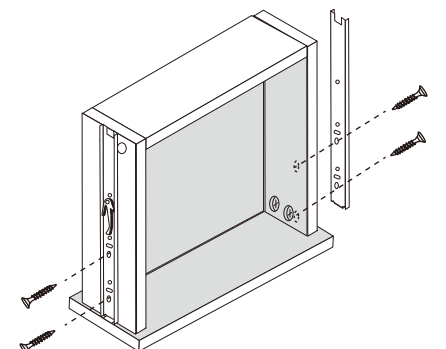
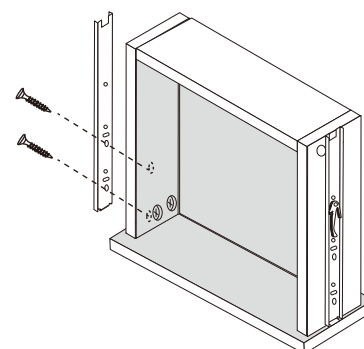
1. インナーレール(引出し側)を引出し側板 **L** のスライドレール用穴に合わせる。引出し正面板 **J** とインナーレール間に隙間が空いていないようにご注意ください。



2. インナーレールを引出し側板 **L** にスライドレール用ビスを 2 カ所取付ける。
※レールの内外の向きがイラスト通りになるようにご注意ください。

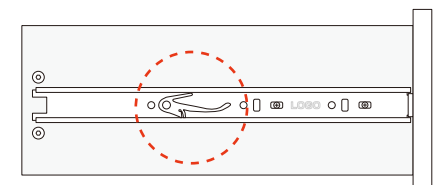
15 スライドレールを引出し箱に固定②

残りのインナーレール(3枚)を引出し側板 **L** と引出し右側板 **M** にスライドレール用ビスを 6 カ所取付ける。



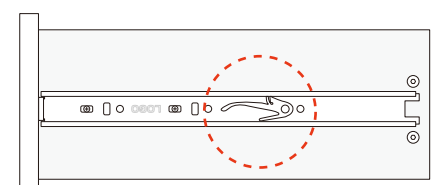
⚠ インナーレールを確認

インナーレールの位置が左側と右側で反対に固定されているかご確認ください。
※イラストと実際の部品が異なることがあります。



引出しの左側

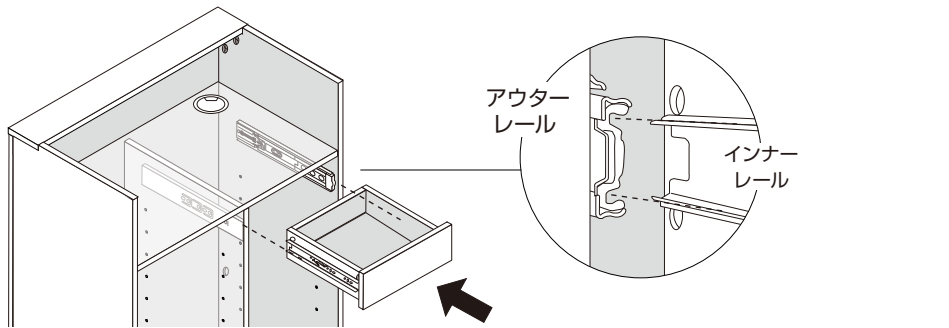
レバーは下に向いている状態



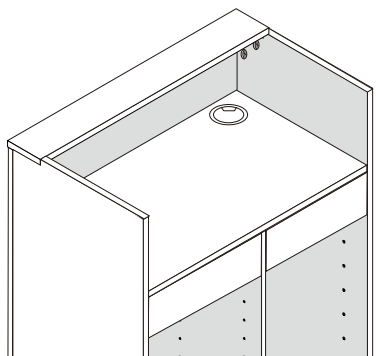
引出しの右側

レバーは上に向いている状態

16 引き出しの取付



1. 引出し箱のインナーレールを本体の
アウターレールの位置に合わせ、取付ける。

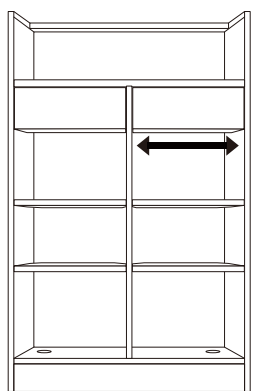


2. 奥までスライドする。
スライドレールがカチンと
音がするまで奥に
スライドさせ、固定する。

カチン

3. もう一つの引出しを取付ける。

17 引出しの調整

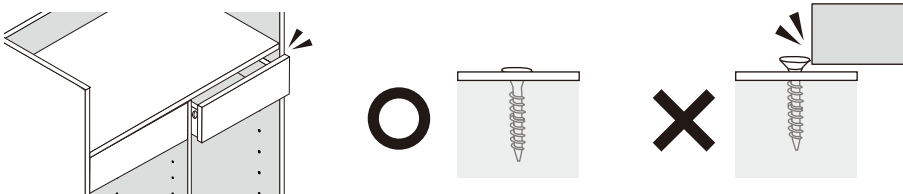


カウンターをご使用前に、
引出しを開閉してご確認ください。
条件を満たしていない場合、
以下の方法で調整してください。

⚠ 使用前確認項目

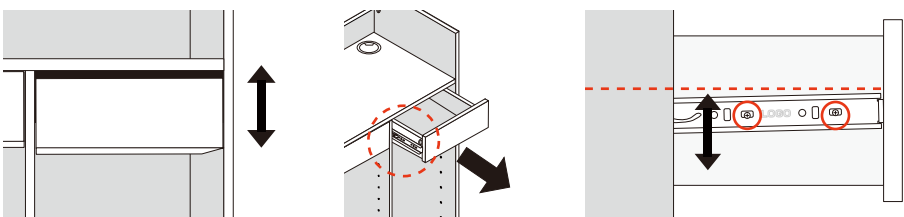
- ・引出しが水平垂直になっていること
- ・開閉時に音が鳴らないこと
- ・引出しの上・左右に大きな隙間がないこと

引出しが開閉しづらい場合



ビスがしっかり締め付けられているかを確認してください。
スライドレールがビスに引っかかっていることがあります。

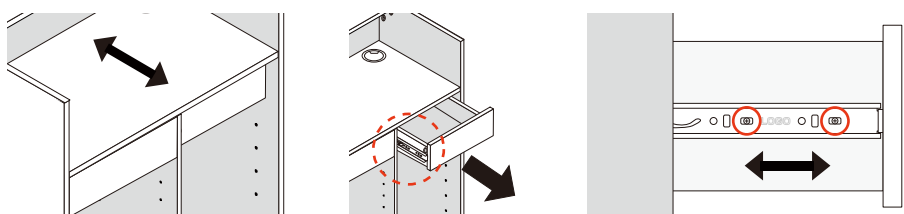
引出しの【上下】を調整



引出しを開けて、
インナーレールを調整
してください。

インナーレールのビスをゆるめて
上下を調整してください。

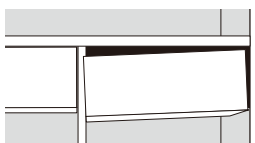
引出しの【前後】を調整



引出しを開けて、
インナーレールを調整
してください。

インナーレールのビスをゆるめて
左右を調整してください。

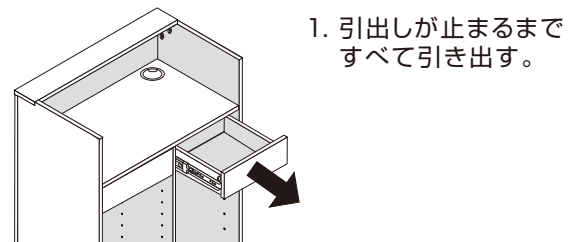
大幅に調整の場合



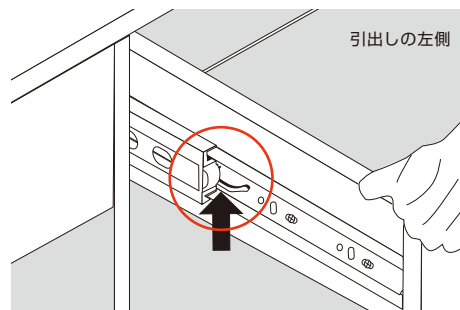
引出しを取り外し、アウター
レールを調整してください。

アウターレールのビスをゆるめて
左右・上下を調整してください。

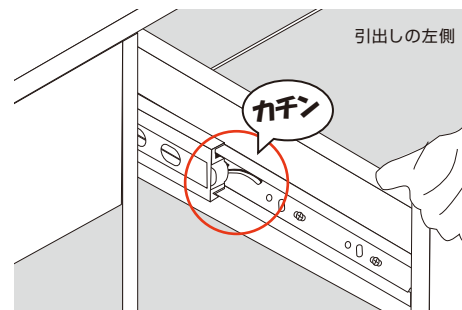
18 引出しの取り外し方



1. 引出しが止まるまで
すべて引き出す。



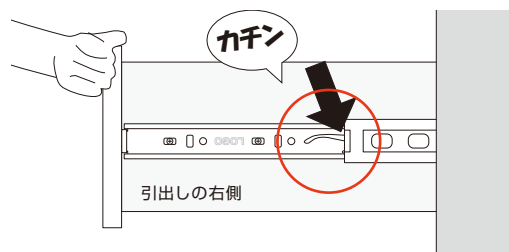
引出しの左側



引出しの左側

カチン

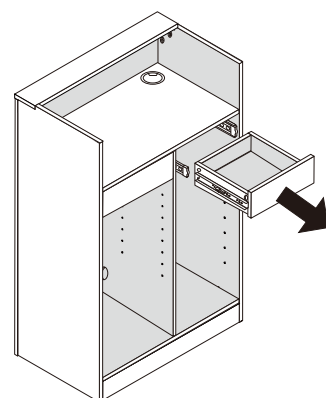
2. 片手で引出しを抑えながら、左側のレバーの根本を押し上げる。
力を入れ、「カチン」という音が出るまでレバーを押し付ける。
※手を放して、レバーが元の位置に戻らない状況が正しいです。



引出しの右側

カチン

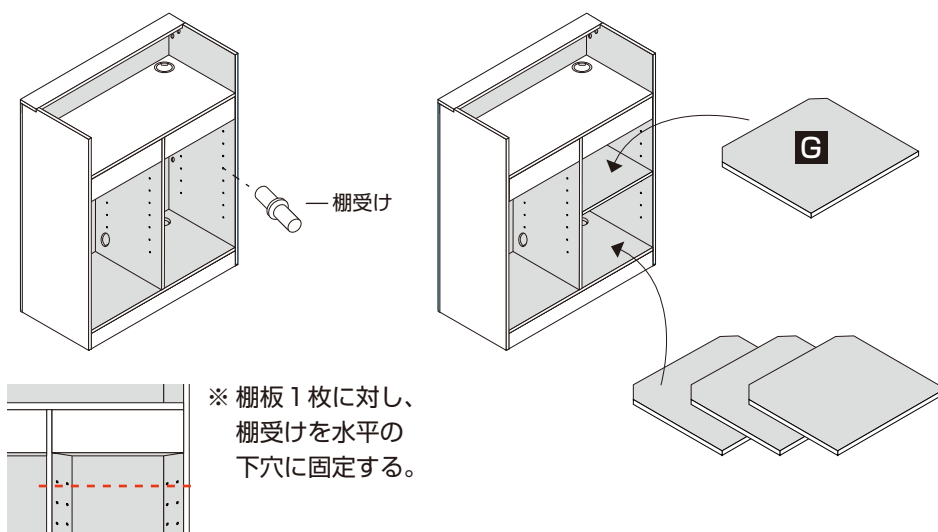
3. 片手で引出しを抑えながら、
右側のレバーを押し下げる。
※左右が反対になる場合があります。
ご了承ください。



4. 引出しを手前に
引いて取り外す。

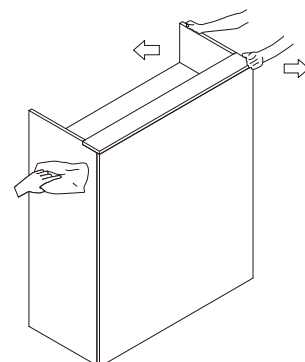
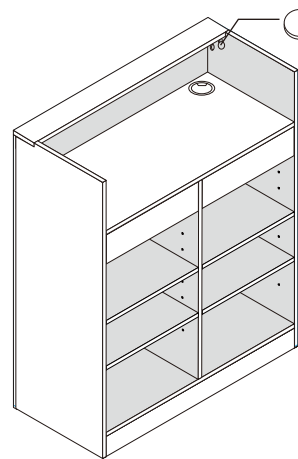
19 棚板の取付

設置したい高さに棚受けを 4 カ所取付け、棚板 **G** を本体に入れ、設置する。
残りの 3 枚も同様に設置する。



20 完成・本体のゆがみの確認とボルトの固定

1. 本体の前後左右に動かし、傾きがないか確認する。
2. ビス穴にシールを貼る。
3. 組立時に汚れた場合は、
柔らかい布などで
きれいに
拭き取ってください。



1 ヶ月に 1 ～ 2 回ほど定期的にメンテナンスをおこなってください。
使用状況によりビスやパーツがゆるんでいる可能性があります。

